



東西2カ所のアプローチを結ぶ、多くのアートが飾られた全長約100mのエントランスラウンジ。左壁面上部の波のような形状のルーバーに組み込まれた照明が奥に歩みをいざなう

## 白金ザ・スカイ

「華やぎ」と「品格」をテーマとした100mにもおよぶエントランスホール。東京都港区白金の古川沿いに誕生したのが、高さ150m超、長さ約130mの2棟で構成される大規模マンション「白金ザ・スカイ」。11,000㎡を超える広大な敷地に、住宅を中心としたさまざまな都市機能を集積することで、多様なライフシーンに対応できるまちを実現している。特徴的なのは東西2カ所のアプローチを結ぶ100mにおよぶ空間。天井高が約10m、5m、2.5mと変化する空間特性に合わせて変化を持たせる照明計画が取り入れられた。インテリアは光と水を用いた演出により、長い廊下を楽しんで歩けるように配慮し、曲線の

モチーフを取り入れたデザインを採用。コーブ照明<sup>※1</sup>とコーニス照明<sup>※2</sup>を配置し、ダウンライトは建築に組み込むことで存在感を抑え、グレアが少ない快適な照明空間を提供する。また各所に飾られているアートを照らしてギャラリーのような空間を創り出している。この空間の照明は自然光の状況や人の活動に合わせてインテリアやアートを美しく引き立たせるように、昼、夜、深夜と3段階で照度やシーンを変える照明制御を行うことにより、省エネルギーにも配慮。さらに、各タワー上層階には都心の眺望が楽しめるスカイラウンジを設け、各所にパーティールームやゲストルームなどのコモンスペースも配されている。

※1 壁面の両側または片側から天井全体を照明し、拡散光源とする間接照明手法  
 ※2 壁と平行に光源を取り付け、壁に光を照射する間接照明手法



### 白金ザ・スカイ

所在地／東京都港区白金一丁目1000番(地番)  
 施主／白金一丁目東部北地区市街地再開発組合  
 設計／株式会社梓設計  
 デザイン監修／A.N.D.(インテリア)、  
 光井純&アソシエーツ建築設計事務所株式会社(外装・外構・インテリア)  
 施工／大林・長谷工建設共同企業体  
 電気工事／株式会社HEXEL Works  
 竣工／2023年2月  
 規模／地上45階、地下1階(延床面積:134,997㎡)



夜間におけるエントランスラウンジの照明環境(左)深夜には天井間接照明を消灯(右)



約10mの吹き抜け空間に配されたアートを存在感を隠した器具が照射



中央のレセプション前に配置されたアートフラワーを照らす間接照明とグレアレスダウンライト



東棟27階に設けられた2層吹き抜けのスカイラウンジ



スカイテラスも備えた西棟19階のパーティールーム



東棟エントランスでは水盤へのカスタムダウンライトが揺らぐ水面を軒下に映す



2つのタワー間にある中央広場のベンチには間接照明を設置

#### 主な納入設備

- グレアレスダウンライト「SmartArchi」
- 建築部材用LED照明器具
- 小型記憶調光システム「ライトマネージャー-Fx」